



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社横河ブリッジホールディングス
コード番号 5911 URL <https://www.ybhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 財務IR室長 (氏名) 中岡 康次 TEL 03-3453-4116
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年11月27日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	82,306	8.3	7,316	86.7	7,477	77.7	5,855	70.9
2023年3月期第2四半期	75,984	22.9	3,918	△36.4	4,207	△32.3	3,426	△30.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 7,384百万円 (155.2%) 2023年3月期第2四半期 2,894百万円 (△32.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	143.26	—
2023年3月期第2四半期	82.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	192,623	122,376	61.8	2,927.22
2023年3月期	194,456	117,653	58.8	2,794.45

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 118,997百万円 2023年3月期 114,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年3月期	—	45.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	0.6	16,000	5.1	16,000	3.5	12,000	6.7	294.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	43,164,802株	2023年3月期	43,164,802株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,512,650株	2023年3月期	2,262,104株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	40,876,128株	2023年3月期2Q	41,309,699株

(注)自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として保有する当社株式を含めて記載しております。
(2024年3月期第2四半期末 241,104株、2023年3月期末 241,104株)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年11月10日（金）に機関投資家、アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料につきましては、同日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
売上高、受注高及び受注残高（連結）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

①受注高

橋梁事業につきましては、厳しい受注環境が続く中、当第2四半期（2023年7月1日～2023年9月30日）においても関東地方整備局・神宮橋、中部地方整備局・鎌田川橋などの大型工事を受注することができ、概ね想定通りに推移しましたが、当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における橋梁事業の受注高は、過去最高を更新した前年同期からの減少は避けられず、344億円（前年同期比32.4%減）となりました。

エンジニアリング関連事業につきましては、事業全体の受注高は229億8千万円（同26.8%減）となりました。システム建築事業につきましては、引合いは引き続き堅調に推移したものの、建設コスト上昇等による計画の延期や見直しが散見され、当第2四半期の受注は当第1四半期から横這いに止まりました。なお、システム建築事業の受注面積につきましては、29万㎡（前年同期43万㎡）となりました。

先端技術事業につきましては、精密機器製造事業において厳しい需要環境が続き、受注高は9億円（同50.7%減）に止まりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注高は582億9千万円（同30.7%減）となりました。

②経営成績

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は823億円（前年同期比8.3%増）となり、過去最高を更新しました。また、営業利益は73億1千万円（同86.7%増）、経常利益は74億7千万円（同77.7%増）と高水準で推移し、投資有価証券の売却益等の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高の58億5千万円（同70.9%増）となりました。以下事業別に記載いたします。

（橋梁事業）

橋梁事業の売上高は459億7千万円（前年同期比22.0%増）となりました。豊富な手持ち工事が順調に推移した結果、営業利益は29億3千万円（同36.0%増）となりました。

（エンジニアリング関連事業）

エンジニアリング関連事業につきましては、売上高は過去2番目の347億3千万円（前年同期比3.1%減）となりました。システム建築事業における損益の改善が寄与し、営業利益は過去最高の50億9千万円（同145.8%増）となりました。

（先端技術事業）

先端技術事業につきましては、受注の減少により売上高は12億9千万円（前年同期比39.5%減）、営業損失は1百万円（前年同期は3億2千万円の利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の連結売上高・受注高・受注残高 (億円)

			前第2四半期累計	当第2四半期累計	
売上高	橋梁事業	新設橋梁事業	242	316	
		保全事業	124	120	
		海外事業	10	22	
		小計	376	459	
	エンジニアリング 関連事業	システム建築事業	282	259	
		土木関連事業	40	44	
		建築・機械鉄構事業	35	43	
		小計	358	347	
	先端技術事業	精密機器製造事業	17	9	
		情報処理事業	4	3	
		小計	21	12	
	不動産事業		3	3	
	合計			759	823
受注高	橋梁事業	新設橋梁事業	474	219	
		保全事業	33	115	
		海外事業	1	9	
		小計	509	344	
	エンジニアリング 関連事業	システム建築事業	240	197	
		土木関連事業	23	9	
		建築・機械鉄構事業	49	22	
		小計	313	229	
	先端技術事業	精密機器製造事業	14	6	
		情報処理事業	3	2	
		小計	18	9	
	合計			841	582
	受注残高	橋梁事業	新設橋梁事業	1,084	867
保全事業			573	523	
海外事業			51	19	
小計			1,709	1,410	
エンジニアリング 関連事業		システム建築事業	238	198	
		土木関連事業	292	266	
		建築・機械鉄構事業	57	34	
		小計	588	499	
先端技術事業		精密機器製造事業	12	4	
		情報処理事業	3	3	
		小計	15	8	
合計			2,313	1,918	

(注) 金額は単位未満を切捨て表示しています。

（2）財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億3千万円減少し、1,926億2千万円となりました。流動資産は、「受取手形・完成工事未収入金等」が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ21億3千万円減少しました。固定資産は、投資有価証券の売却があったものの、株価の上昇等により「投資その他の資産」が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ3億円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ65億5千万円減少し、702億4千万円となりました。その主な要因は、「支払手形・工事未払金等」や「短期借入金」が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ47億2千万円増加し、1,223億7千万円となりました。その主な要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上や「その他有価証券評価差額金」の増加、配当金の支払等によるものです。この結果、自己資本比率は61.8%となりました。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比べて62億5千万円増加し、260億1千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は83億4千万円（前年同四半期連結累計期間は37億6千万円の使用）となりました。これは、主に「受取手形・完成工事未収入金等」の売上債権が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は4億4千万円（前年同四半期連結累計期間は7億8千万円の使用）となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は79億4千万円（前年同四半期連結累計期間は7億8千万円の獲得）となりました。これは、主に短期借入金の返済があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

システム建築事業の上半期の受注の伸び悩みや土木関連事業の大型プロジェクトの進捗が遅延傾向にあることにより、下半期のエンジニアリング関連事業の売上高は計画を下回る見込みとなりました。加えて、先端技術事業においても低調が続き、通期の売上高は減少する見込みとなりました。一方、損益につきましては、土木関連事業や先端技術事業において下振れる見込みですが、上半期のシステム建築事業の改善や下半期の橋梁事業の設計変更等により増益を想定しています。また、保有する投資有価証券の更なる売却を勧奨し、通期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

2024年3月期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年5月15日発表)	175,800	15,500	15,500	10,600	259.15
今回修正予想(B)	166,000	16,000	16,000	12,000	294.73
増減額(B)-(A)	△9,800	500	500	1,400	—
増減率(%)	△5.6	3.2	3.2	13.2	—
(ご参考) 前年同期実績 (2023年3月期)	164,968	15,218	15,452	11,243	273.36

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	25,143	26,016
受取手形・完成工事未収入金等	101,026	96,873
棚卸資産	3,745	3,609
その他	3,440	4,717
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	133,354	131,216
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,143	15,143
その他（純額）	23,463	22,726
有形固定資産合計	38,607	37,870
無形固定資産	2,454	2,700
投資その他の資産		
投資有価証券	12,771	13,562
その他	7,269	7,273
投資その他の資産合計	20,040	20,835
固定資産合計	61,101	61,407
資産合計	194,456	192,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	26,343	23,167
短期借入金	9,141	3,149
1年内償還予定の社債	300	—
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	2,749	2,609
未成工事受入金	2,453	2,585
工事損失引当金	3,777	3,713
賞与引当金	2,640	2,732
その他の引当金	205	201
その他	2,548	3,420
流動負債合計	50,660	42,080
固定負債		
社債	3,100	4,100
長期借入金	8,400	8,400
役員退職慰労引当金	69	77
株式報酬引当金	193	265
退職給付に係る負債	12,333	12,724
その他	2,047	2,599
固定負債合計	26,143	28,166
負債合計	76,803	70,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	9,150	9,150
利益剰余金	94,371	98,375
自己株式	△2,465	△3,153
株主資本合計	110,491	113,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	5,030
土地再評価差額金	159	159
その他の包括利益累計額合計	3,809	5,190
非支配株主持分	3,352	3,378
純資産合計	117,653	122,376
負債純資産合計	194,456	192,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	75,984	82,306
売上原価	66,839	69,470
売上総利益	9,144	12,835
販売費及び一般管理費	5,225	5,518
営業利益	3,918	7,316
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	211	193
持分法による投資利益	27	38
為替差益	154	89
その他	67	74
営業外収益合計	461	399
営業外費用		
支払利息	33	82
コミットメントフィー	62	50
前受金保証料	20	45
団体定期保険料	34	35
その他	22	24
営業外費用合計	173	238
経常利益	4,207	7,477
特別利益		
固定資産売却益	0	108
投資有価証券売却益	976	991
関係会社清算益	—	68
特別利益合計	976	1,168
特別損失		
固定資産処分損	47	51
特別損失合計	47	51
税金等調整前四半期純利益	5,136	8,594
法人税等	1,629	2,590
四半期純利益	3,506	6,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,426	5,855

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,506	6,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△612	1,380
その他の包括利益合計	△612	1,380
四半期包括利益	2,894	7,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,814	7,236
非支配株主に係る四半期包括利益	80	147

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,136	8,594
減価償却費	1,872	1,858
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	239	391
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	7
株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	3	72
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	259	△63
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△180	86
受取利息及び受取配当金	△212	△196
支払利息	33	82
投資有価証券売却損益 (△は益)	△976	△991
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△107
その他	△60	△167
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,323	4,153
未成工事支出金等の増減額 (△は増加)	609	△213
仕入債務の増減額 (△は減少)	635	△3,175
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△788	132
未払金の増減額 (△は減少)	△240	△53
預り金の増減額 (△は減少)	1,406	1,100
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△758	259
その他の資産・負債の増減額	△1,264	△845
小計	△1,614	10,925
利息及び配当金の受取額	214	197
利息の支払額	△33	△84
法人税等の支払額	△2,334	△2,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,768	8,345

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,046	△1,214
有形固定資産の売却による収入	8	26
無形固定資産の取得による支出	△402	△528
投資有価証券の売却による収入	1,748	2,091
その他の支出	△137	△41
その他の収入	40	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△789	443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△5,991
長期借入れによる収入	8,400	—
長期借入金の返済による支出	△6,289	—
社債の発行による収入	3,100	1,000
社債の償還による支出	△2,300	△300
自己株式の取得による支出	△537	△687
自己株式の売却による収入	150	—
配当金の支払額	△1,660	△1,846
非支配株主への配当金の支払額	△76	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	785	△7,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,695	873
現金及び現金同等物の期首残高	23,458	25,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,763	26,016

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しています。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,685	35,842	2,139	317	75,984	—	75,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,685	35,842	2,139	317	75,984	—	75,984
セグメント利益	2,159	2,073	326	176	4,735	△816	3,918

（注）1. セグメント利益の調整額△816百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	橋梁事業	エンジニア リング関連 事業	先端技術 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,973	34,738	1,293	300	82,306	—	82,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	45,973	34,738	1,293	300	82,306	—	82,306
セグメント利益	2,937	5,094	△1	197	8,228	△911	7,316

（注）1. セグメント利益の調整額△911百万円は、全社費用等であり、主に当社の総務・人事・経理部門等の管理部門に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. その他

売上高、受注高及び受注残高 (連結)

期 別	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増 減 (△印は減)	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
区 分	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	金 額(百万円)	
売上高	橋梁事業	37,685	45,973	8,288	87,018
	エンジニアリ ング関連事業	35,842	34,738	△1,104	72,933
	先端技術事業	2,139	1,293	△845	4,388
	不動産事業	317	300	△16	628
	合 計	75,984	82,306	6,321	164,968
受注高	橋梁事業	50,902	34,408	△16,493	81,895
	エンジニアリ ング関連事業	31,394	22,982	△8,411	71,382
	先端技術事業	1,834	904	△929	3,718
	合 計	84,130	58,295	△25,834	156,996
受注残高	橋梁事業	170,947	141,041	△29,905	152,607
	エンジニアリ ング関連事業	58,836	49,978	△8,858	61,734
	先端技術事業	1,565	812	△752	1,200
	合 計	231,349	191,832	△39,516	215,542

(注) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた金額です。